



Axial
RETAILING

第63期
事業報告書

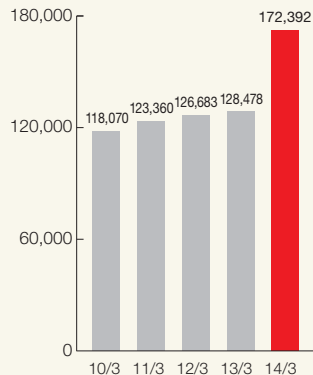
2013年4月1日から2014年3月31日まで

アクシアル リテイリング株式会社

売上高

1,723億円

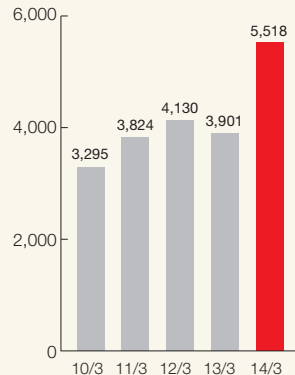
34.2%
(前期比+439億円)



営業利益

55億円

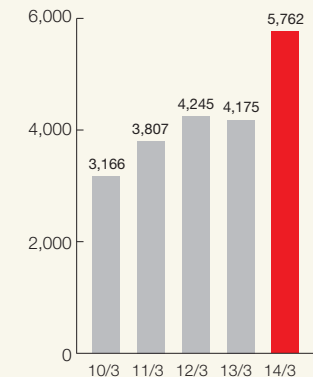
41.5%
(前期比+16億円)



経常利益

57億円

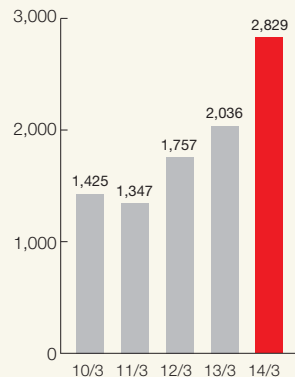
38.0%
(前期比+15億円)



当期純利益

28億円

39.0%
(前期比+7億円)



当社は平成25年10月1日に、株式会社フレッセイホールディングスと経営統合を行い、これに合わせて、社名をアクシアルリテイリング株式会社に变更いたしました。

「アクシアル」は、「軸」という意味であり、流通業界の新たな軸となり、これからの社会に更に貢献してまいりたいという願いを込めております。

おかげさまで、経営統合初年度である当期の業績は予定を上回ることができ、将来に向けた順調なスタートが切れたと考えております。

今後も、原信、ナルス、フレッセイ各店舗が、地域の皆様にチェーンストアとしてのメリットを提供してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

原 和 彰

当期の概況

当期におけるわが国経済は、全般的な景況感の改善や一部業種が先行して収益改善を示すなどの動きが見られました。また、消費税増税を控えた駆け込み需要により、一時的に国内経済指標が向上いたしました。

このような状況において、当期における当社グループの連結業績は、平成25年10月1日に株式会社フレッセイホールディングスと経営統合したことに加え、旧・原信ナルスホールディングスグループの業績も過去最高となったことから、売上高が1,723億92百万円(前期比34.2%増)、営業利益が55億18百万円(前期比41.5%増)、経常利益が57億62百万円(前期比38.0%増)、当期純利益が28億29百万円(前期比39.0%増)となり、各数値は前期に比べ大幅に増加いたしました。

全般

競合状況の激化は、同業他社との間のみならず、異業種の間でも一層激しさを増しており、販売価格の継続的下落傾向が続いております。一方で、生鮮品の相場動向、為替相場の問題や原料原価の価格改定に起因した商品原価の上昇もあり、売上総利益を確保することが難しい状況が続いております。

このような状況において、当社グループでは、競争に耐えうる強い企業体質の実現に取り組んでおります。

当期におきましては、新たな競合の発生がありましたが、既存店の売上高が前期に比べ2.5%増加し、新規出店店舗や改装店舗が概ね好調に推移したことや、様々な取り組みの実施により、全店の売上高は

前期に比べ6.5%増加いたしました。また、商品仕入価格の上昇傾向と販売競争の激化の中にあっても、週間管理の仕組みを徹底することや廃棄ロス削減の取り組みによって、店舗段階の売上総利益率は24.6%と前期に比べ0.3ポイント増加することができました。

(注) 全店の売上高前期比は、フレッセイ店舗について前期を遡及調整しております。

経営統合

平成25年10月1日をもって、当社を株式交換完全親会社、株式会社フレッセイホールディングスを株式交換完全子会社とする株式交換が効力を生じ、当社グループは、6県にまたがるリージョナル・チェーンとなりました。

また、これに合わせて、当社は社名を「アクシアル リテイリング株式会社」に変更し、新たな企業集団として進発をいたしました。

「アクシアル」は、「軸」という意味であり、流通業界の新たな軸となって、これからの社会に貢献してまいりたいという願いを込めております。今後も、原信、ナルス、フレッセイ各店舗が、地域の皆様チェーンストアとしてのメリットを提供してまいります。



原信ナルス中之島DC(ディストリビューション・センター)概要

敷地面積	21,867㎡
建築面積	11,756㎡
延床面積	22,509㎡ 2階建て
対象店舗	原信ナルス全店舗
扱い部門	一般食品、酒、菓子、雑貨等



原信ナルス中之島DC(9月・新潟県長岡市・延床面積22,509㎡)が竣工いたしました。

DC設置の目的は、商品調達力の強化とロジスティックスの全体最

適を図り、売場と連動して、ストアロイヤルティの向上や店舗オペレーション全体の効率的な運用を実現することにあります。

稼働後の期間においては、品切れの削減や鮮度の向上による販売力・収益性の向上、店舗在庫量や店舗作業量の削減による効率性の向上が表れつつあります。

また、DCが安定的に稼働を開始できたことを受け、かねてから計画していた店舗での自動発注システムの実験を開始いたしました。これは、店舗での発注作業の軽減と発注精度の向上をはかり、DCの効果を一層拡大することを目的としています。

商品政策

春季につきましては、気温上昇が早めに到来したため、行楽用品や夏物商品が早めに動き出し、売上の底上げにつながりました。夏季につきましては、梅雨が長引いた後、急激な猛暑となりましたが、下旬には一時的に気温が低下し、その後再度上昇するなど、気温変動が非常に激しく、お客様の動向は細かく変化いたしました。秋季につきましては、台風の到来が多かったことなどの影響があり生鮮品が相場高となりましたが、販売動向は概ね安定した状況となりました。冬季につきましては、例年降雪のない地域で、一時的に異常な大雪となり、営業に支障をきたしましたが、当社グループの商品調達力や降雪地域における経験を活かし、お客様にご迷惑をおかけしないよう最大限の対応を行い、お客様のご支持を得ることができました。また、冬季オリンピックや消費税増税前の駆け込み需要など、業績向上に寄与した要因もありました。年度を通じ、様々な需要変化の要因はありましたが、先を見据えた商品計画を行い、概ね、状況に応じた対応が図れました。

プライベートブランドの商品につきましては、生鮮相場の変動に強い商品の刷新や価格競争力のある季節商品の開発を行いました。また、ブランド名を、「原信ナルス」から「アクシアル」に順次変更し、フレッシュ店舗への供給も開始いたしました。

このほか、当社グループの購買規模を活かし、お客様にとって価格以上の価値をもった商品を選定して集中販売する「チャレンジ商品101」の取り組みや、当社グループ内の食品製造機能を活かし品質を兼ね備えた独自の低価格商品「パワーアイテム」の販売拡大を継続しております。

販売政策

販売計画の立案から結果の振り返りまでを体系化した週間管理の仕組みを徹底し、日々の店舗作業管理の仕組みと連動させることにより、環境や競合状況の変化にあっても、先を見据えた計画の立案や売場への具現化を継続しております。

行事や物日といった、いわゆるハレの日には、従来とは趣向を変えた商品提案を行い、お客様からご支持をいただくことができました。催事につきましては、株式会社フレッシュホールディングスとの経営統合を記念した催事の実施や、例年実施している創業月の月間催事に関する販売促進方針の見直しにより、お客様より大変ご好評をいただきました。

これらにより、来店客数は、既存店で前期に比べ0.8%増加し、全店では新規出店効果もあり前期に比べ4.9%増加いたしました。また、売上点数は、全店で前期に比べ0.8%増加いたしました。

(注)来店客数、売上点数の前期比は、フレッシュ店舗について前期を遡及調整しております。

コスト・コントロール

作業計画と連動した労働時間管理や、商品廃棄金額の削減、ISO14001の環境マネジメントと連動した環境コストの削減を進めるほか、様々な形で経営資源の適正利用、使用量の削減の取り組みを継続しております。

販売費及び一般管理費は、連結全体で前期に比べ104億63百万円増加し、売上高に対する比率は23.4%となり、前期に比べ0.1ポイント増加いたしました。概ね当初予定した範囲に収めることができました。

金額の増加につきましては、株式会社フレッシュホールディングスとの統合に伴う増加、店舗数の増加に伴う諸経費の増加や電気料金の値上げに伴う水道光熱費の増加、原油価格の上昇に伴う配送費の増加に加え、原信ナルス中之島DC(ディストリビューション・センター)の新設に係る諸経費の発生によるものであります。

出店・退店等

出店につきましては、原信上田緑が丘店(6月・長野県上田市・売場面積2,085㎡)、原信西新発田店(9月・新潟県新発田市・売場面積2,087㎡)、原信亀貝店(11月・新潟県新潟市・売場面積2,087㎡)を新設いたしました。このほか、平成25年10月1日に実施した株式会社フレッシュホールディングスとの経営統合により、同社グループのスーパーマーケット49店舗、100円ショップ6店舗、フィットネスクラブ2店舗が、新たに当社グループの店舗に加わっております。

改装につきましては、原信新潟店(5月・新潟県新潟市・売場面積2,392㎡)について実施いたしました。

退店につきましては、ダイソー荒牧店(2月・群馬県前橋市・売場面積546㎡)について、フランチャイズ契約を解除し、テナント契約への切り替えを実施いたしました。

121店舗、売上2,000億円規模の
リージョナル・チェーンとして生まれ変わりました



新潟県、長野県、富山県に

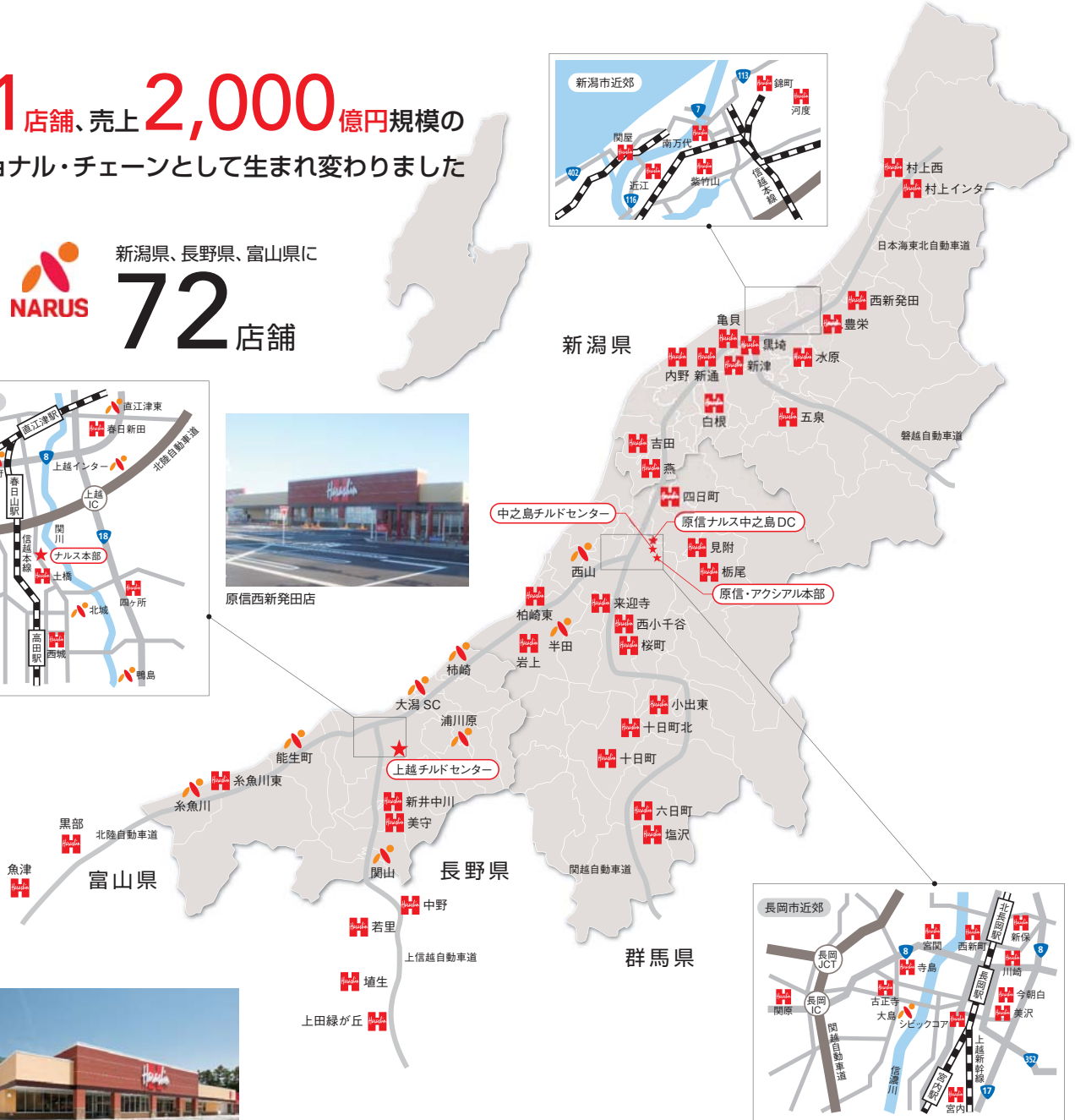
72店舗



原信西新発田店



原信上田緑が丘店



新潟県



群馬県、栃木県、埼玉県に

49 店舗

互いの独自性を尊重しながら、両社の経営資源を融合することで、販売規模を活かし、競争力とリージョナル・チェーンとしてのプラットフォームを一層強化・拡大していきます。

群馬県

栃木県

埼玉県

長野県



フレッセイ南大類店



クラシース新前橋店



クラシード若宮店

フレッセイ本部・物流センター

主要財務データ

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2013年3月31日	当連結会計期間 2014年3月31日
資産の部		
流動資産	14,234	23,041
固定資産	41,079	65,648
資産合計	55,313	88,690
負債の部		
流動負債	17,708	28,575
固定負債	11,254	21,315
負債合計	28,963	49,890
純資産の部		
株主資本	25,640	37,820
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	6,405	15,749
利益剰余金	16,748	18,966
自己株式	△673	△55
その他の包括利益累計額	709	979
純資産合計	26,350	38,799
負債純資産合計	55,313	88,690

連結キャッシュフロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2012年4月1日から 2013年3月31日まで	当連結会計年度 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,920	8,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,176	△2,859
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,666	△366
現金及び現金同等物の増減額	△922	5,153
現金及び現金同等物の期首残高	6,713	5,790
現金及び現金同等物の期末残高	5,790	10,944

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2012年4月1日から 2013年3月31日まで	当連結会計年度 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
売上高	128,478	172,392
売上原価	94,669	126,502
売上総利益	33,809	45,890
販売費及び一般管理費	29,908	40,371
営業利益	3,901	5,518
営業外収益	392	398
営業外費用	118	154
経常利益	4,175	5,762
特別利益	34	1
特別損失	513	744
税金等調整前当期純利益	3,695	5,020
法人税等合計	1,659	2,190
少数株主損益調整前 当期純利益	2,036	2,829
当期純利益	2,036	2,829

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2012年4月1日から 2013年3月31日まで	当連結会計年度 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
少数株主損益調整前 当期純利益	2,036	2,829
その他の包括利益		
その他有価証券 評価差額金	372	179
その他の包括利益合計	372	179
包括利益	2,408	3,008
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,408	3,008
少数株主に係る包括利益	—	—

原信ネットスーパーがより便利になってリニューアル

新機能

1 スマートフォン専用サイトオープン

ボタンや文字が画面サイズに最適化され、買い物がしやすくなりました。

2 仕送り配送

住所を複数登録できるようになりました。新潟県外から県内に住むご家族に仕送りすることも可能になりました。

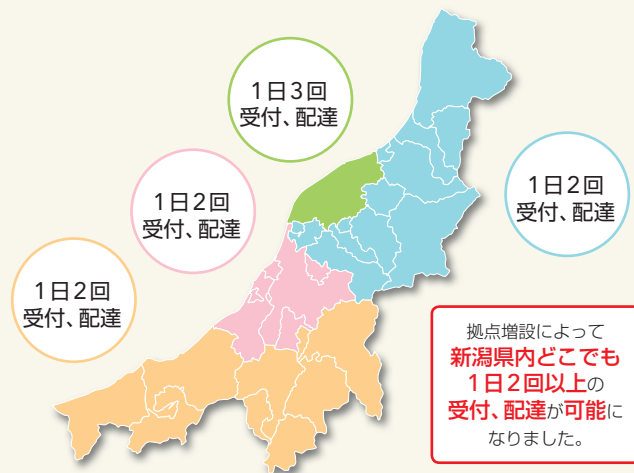
機能アップ

1 検索機能の強化

2 処理速度のスピードアップ

3 ID、クレジットナンバーの保持機能

4 当日中の多数回配送エリアの拡充



詳しくは、原信ネットスーパーHPをご覧ください。

<https://harashinnetsuper.hnhd.co.jp/>

株主優待制度

毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に記載または記録された、100株以上を保有される株主の皆様に対して、下記の贈呈基準をもとに、株主優待券（以下、「お買い物割引券」と表記します。）あるいは株主優待品の中から一点をご選択いただき贈呈いたします。

1. 株主優待制度の内容

- ① 贈呈内容 お買い物割引券または株主優待品のいずれかをお選びいただけます。
各々の贈呈基準は「2. 株主優待制度の贈呈基準」を参照ください。（お買い物割引券と株主優待品の両方を選択することはできません。）
- ② 対象者 100株以上の株主
- ③ 贈呈基準 3月31日および9月30日現在の株主を対象に年2回実施
- ④ 贈呈方法 対象者に案内書を送付し、案内書に添付された申込書に必要事項をご記入の上ご返送いただき、申込書と引き替えに商品等を贈呈いたします。

2. 株主優待制度の贈呈基準

(1) お買い物割引券(額面100円)

① 贈呈基準

100株以上	500株未満	15枚	3,000株以上	4,000株未満	150枚
500株以上	1,000株未満	30枚	4,000株以上	5,000株未満	200枚
1,000株以上	2,000株未満	50枚	5,000株以上		250枚
2,000株以上	3,000株未満	100枚			

② 使用方法

一回のお買上金額1,000円以上につき、1,000円ごとに1枚(割引額100円)利用可能

③ 使用できる店舗および対象商品

原信、ナルス、フレッシュの直営売場における全商品(ただし専売品・商品券・その他指定商品は除く。)

④ 有効期限

3月31日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から翌年1月31日まで
9月30日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から翌年7月31日まで

(2) 株主優待品の贈呈基準

贈呈基準

- | | | |
|----------|----------|---------------------|
| 100株以上 | 500株未満 | クオカード1,000円分 |
| 500株以上 | 1,000株未満 | 新潟県産コシヒカリ(米)5kg |
| 1,000株以上 | | 以下の4品より1品お選びいただけます。 |
- 新潟県産コシヒカリ(米)10kg
 - 岩塚製菓 米菓詰め合わせ
 - 亀田製菓 米菓詰め合わせ
 - ポンオーハシ 和洋菓子詰め合わせ



会社データ

会社の概要

商 設 所	在 地	号 立 地	アクシアル リテイリング株式会社 1967年(昭和42年)8月 新潟県長岡市中興野18番地2 Tel: 0258-66-6711 Fax: 0258-66-6727
資 上 証 券 証 券 コ ー ド	本 取 引 所	金 引 所	31億5,971万2,610円 東京証券取引所市場第1部
従 業 員 数 (連 結)			8255 2,337名

取締役、執行役員および監査役

代 表 取 締 役 会 長	山 崎	軍 太 郎
代 表 取 締 役 社 長	原	和 彦
代 表 取 締 役 副 社 長	植 木	威 行
取 締 役 副 社 長 ・ 執 行 役 員	五 十 嵐	安 夫
専 務 取 締 役 ・ 執 行 役 員	山 岸	豊 後
常 務 取 締 役 ・ 執 行 役 員	小 出	朗
取 締 役 ・ 執 行 役 員	森 山	仁
取 締 役 ・ 執 行 役 員	丸 山	三 行
取 締 役 ・ 執 行 役 員	加 部	敏 夫
取 締 役	細 貝	巖 (社外取締役・独立役員)
執 行 役 員	吉 田	浩 和 (財務経理部長)
執 行 役 員	松 口	克 彦 (総務部長)
執 行 役 員	小 林	政 信 (経営企画部長)
執 行 役 員	丸 山	将 範 (TQM推進部長)
常 勤 監 査 役	八 子	淳 一 (社外監査役)
常 勤 監 査 役	増 田	和 弘
常 勤 監 査 役	藤 田	友 三 郎
監 査 役	金 子	健 三 (社外監査役)

株主メモ

事 業 年 度	4月1日から3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
中 間 配 当 基 準 日	9月30日
期 末 配 当 基 準 日	3月31日
株 主 優 待 制 度	有(年2回)
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
(お 問 合 せ 先 郵 便 物 送 付 先)	